

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニデックモビリティ株式会社					
代表者名	氏名	和田 克弘		役職名	代表取締役社長執行役員	
主たる事務所の所在地	愛知県小牧市大草年上坂6368					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	31 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	車載電装部品の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kJ	2,725	2,643	2,272		
エチギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5,911		4,802		
調整後排出量	t-CO ₂	4,587	4,449	4,802		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	7		7		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	7				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：ニデックモビリティ株式会社 飯田事業所 時間：8:30～17:15 連絡先：0265-26-6001		
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧			
<input type="checkbox"/>	その他			

様式1号
(総括票)

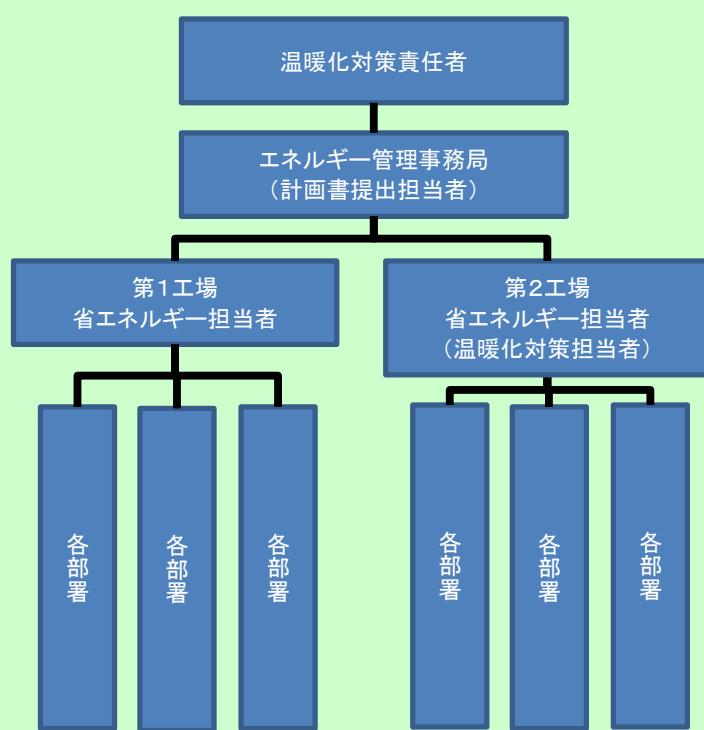
4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

IS014001に基づく環境目標を定め、進捗管理を行う。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2040	年度	削減目標	カーボンニュートラルの実現 (CO ₂ 排出量 (Scope1・2) をゼロ)
削減計画の概要	ニデックグループ全体で2030年度までにスコープ1・2での排出量を2022年度に比べて42%削減					
イニシアチブ参画状況	<input checked="" type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

エネルギーデータ分析会議： 1回／月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

様式 1 号
(総括票)

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基 準 排 出 量	7	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に 関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の 増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の 増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ~ II	I -1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I -2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量(t-CO ₂)	実施年度	推計削減量(t-CO ₂)
1	エネ起	ボイラ	不要時の蒸気供給バルブの停止 (区分番号320208)	2023～2025	145	2023	302
2	エネ起	空調機	中間期・冬季における外気冷房の実施 (区分番号330201)	2023～2025	21	2023	52
3	エネ起	空調機	不要時の換気停止の徹底 (区分番号330207)	2023～2025	9	2023	9
4	エネ起	コンプレッサ	コンプレッサー(INV機)の更新 (区分番号360799)	2024～2025	8		
5	エネ起	コンプレッサ	長期休暇期間中のコンプレッサー停止 (区分番号360799)	2023～2025	2	2023	14
6	エネ起	コンプレッサ	空気漏れ箇所の修理 (区分番号360705)	2023～2025	3	2023	6
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	13	0	13		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年	0	0	0		
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0	0		
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年	0	0	0		
J-クレジット	t-CO ₂ /年	0	0	0		
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年	0	0	0		
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	14	基準年度と同等量	13		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年	0	0	0		

様式1号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネル ギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0	0	0				
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,170	1	3,308				
1,500k1未満	1	1,741	1	1,493				
合計	2	5,911	2	4,802				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	1	1		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼ ル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	4	4		
合計	5	5	0	0
自動車総数	7	7		
次世代自動車導入 割合	71.4	71.4		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	社員の出張時に公共交通機関利用促進を行っている
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	社員通用口に「エコドライブ推進」の看板を掲げている
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	電気自動車用受電設備を3台設置している。 社有車に1台プラグインハイブリッド車を導入している。
物流の合理化	独自の運送システムを構築し、配送頻度の最小化、短ルート配送、効率配送を行っている。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
□ SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
□ TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
■ 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	1998年
□ グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
□ ZEB	の認証を取得している	
■ ディマンド・リスポンス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	2023年
■ その他	蓄熱槽で冷水を貯蔵、通年の冷房用として使用している	2008年

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

- ・分電盤単位（約180箇所）にセンサを設置し、10分間隔の消費電力データを収集している。
- ・社内ルール「環境貢献商品登録制度」を設け、商品の設計・製造に関する環境貢献量を算出し管理している。
- ・不要となった物品をできる限り細かく分解して有価物として排出し、廃棄物の排出量を削減している。
- ・雨水を再利用し、上水利用量の削減を行っている。
- ・蓄熱槽で冷水を貯蔵、通年の冷房用として使用し、電力負荷平準化とピーク時の電力消費量を抑制している。
- ・建屋内の天井照明は過年度の活動によりすべてLEDを使用している。
- ・工場の屋根をソーラーパネル設置場所として提供（屋根貸し）している。
- ・工場周辺に生息しているギフチョウへの配慮から黒を基調とした工場外壁色を採用している。